

雷 両国中だより

令和5年9月1日(金)

発行 墨田区立両国中学校

墨田区横網1丁目8番1号

TEL 03 (3625) 0361

猛暑の夏を終え、実りの秋を過ごそう！！

校長 渋谷 俊昌

9月に入り、42日間の夏休みが終わり、学校生活が再開しました。生徒の皆さんはそれぞれ充実した休みを過ごしてくれたことと思います。夏休み前の全校集会では、この夏休みが有意義となるよう規則正しい生活を心がけ、なにか一つでも成果が上がる休みにしましょうと呼びかけましたが、どうだったでしょうか。ぜひ、夏休みの自分の取組を自信にして、9月以降の生活に前向きに取り組んでもらえればと思います。

さて、今年の夏は記録的な猛暑が続き、地球全体でも気温の上昇が憂慮されています。国連の事務総長が「地球沸騰化の時代に入った」と警鐘を鳴らしたことも衝撃的でした。地球温暖化について、今を生きる者としてできることは何かを考える必要があるのではとあらためて感じました。

また、今年は「関東大震災から100年」の節目の年です。1923年9月1日に関東大震災が起これ、多くの方が被災されました。両国中学校のすぐそばの東京都慰霊堂は、大震災の犠牲者を供養するために建てられたものです。この慰霊堂で今年の夏に「関東大震災100年 第11回首都防災ウィーク」開会式が行われ、その中で「竹灯りワークショップ」ボランティアに参加した両中生に感謝状が授与されました。大地震発生を想定し、中学生としてできることは何か考え、備える必要性をこの大震災100年の節目に強く感じました。両国中では1年生で防災の学習として、プロジェクト学習を行っていますが、普段の安全教育と合わせ、防災・減災の学びをさらに進めていきたいと思っています。

まだまだ暑い日が続きそうですが、日一日と季節は秋に近づいています。秋は学習や運動、文化的な活動等に最適な季節といわれます。毎日の生活を大切にして、生徒の皆さん一人一人が大きく成長することを期待します。



栄光を讃える

この夏にも部活動の各大会やコンクールが行われました。そこで、両中生が活躍してくれていますのでご報告します。

□第62回東京都中学校総合体育大会

100mバタフライ5位(全国大会出場)

□墨田区中学校総合体育大会 陸上競技の部

□第62回東京都中学校総合体育大会

200mバタフライ2位(全国大会出場)

男女総合3位 陸上競技部 女子2位 陸上競技部

女子共通1500m1位 女子走幅跳1位

□第63回東京都中学校吹奏楽コンクール

B組金賞 吹奏楽部

●●● 第72回(令和4年度)社会を明るくする運動作文コンテスト ●●●

第72回(令和4年度)社会を明るくする運動作文コンテストにおいて、本校の生徒が墨田区推進委員会委員長賞を受賞しましたので、受賞した作文をご紹介します。

「存在価値がない人なんていない」

墨田区立両国中学校 二年

ある日、ニュースを見ていたら、ショッキングな事件が報道された。それは、十五歳の女子生徒が通りすがりの親子を八・五センチメートルの包丁で刺して逮捕されたという事件だ。彼女は母と弟を刺して殺そうとしたが、勇気が出ず、練習として通りすがりの女性を刺して死刑になりたかったと供述していたらしい。私と二つしか違うない彼女に何があったのか、とてもショックだった。なぜこういう事件が起きてしまうのか今回は考えてみたいと思う。

まず、母と弟を刺そうとしたということは、家庭内に問題があったと考えられる。自分の苦しみや悲しみ、怒りを分かってもらえず、それを家族にぶつけようとしたが、家族と向き合えず、外部にぶつけてしまった結果、この事件が起きてしまったのではないかと考えた。このような事件を未然に防ぐことはできなかったのだろうか。

この事件が起きる前に彼女から SOS があったはずだ。それを大人が無視しなければこうならなかったのではないかと。

命の大切さが分かっていたら、自分が大切だったら、彼女はそんなことはしなかったはずだ。おそらく、自暴自棄になっていたのではないかと。彼女は取りおさえられた時その目には生気がなく、抵抗もなかったようだ。

昨今、犯罪の低年齢化、凶悪化を受けて、少年法の改正や犯罪の厳罰化を求める声が聞かれるが、果たしてそれは、絶望の淵で、一番重い刑を求めて捕まってくる人や、自分も死のうと思っていたなどと捕まってくる人に対して解決になるのか。彼女のような自暴自棄になっている人が、犯罪や非行に手を染めてしまう前に救う方法はないのだろうか。

今回の事件のような誰でもよかったという無差別的な犯行は、被害者側からの視点に立っても、残念なことに気を付けようもなく、防ぎようもない。だから、こういった犯罪を未然に防ぐことが大事になってくるのではないかと。

日本の社会はなかなか家庭内の問題にふみ込めない。人との触れ合いや地域とのつながりも減っている中、助けを求められずに人知れず孤立を深めている人もいるのではないかと。様々な原因で立ち止まってしまった人や、道からはずれてしまった人を支援する方法が少ないように思える。

私は、どんなに立ち止まっても、大多数の人が通る道はずれてしまっても、家庭環境や経済的に恵まれなかったとしても、誰でも、いつでも、どこからでも、必要な教育を受けられ、やり直せる、希望を持ち続けられる社会にみんなで変えていく必要があるのではないかと。また、家庭や学校の他にも、安心していられる第三の居場所を作り、孤立させないことも大切なのではないかと。誰もが大切にされる、自分も大切だと実感できる、希望を持ち続けられる社会が、非行や犯罪、自殺を防ぎ、社会を明るくするのはのではないかと。

「安心できる幸せな社会を目指して」

墨田区立両国中学校 二年

明るい社会とはどのようなものだろうか。私は、四つのことを考えた。一つ目は、安心して過ごせる犯罪や非行のない社会だ。二つ目は、差別で嫌な思いをしないみんな平等の社会だ。三つ目は、誰もが教育や食など生活に困らない社会だ。四つ目は、気軽に相談できる人や場所がある社会だ。

さて、今の社会はどうだろうか。最近、私の学校に登下校中に女子生徒を誘拐するというメールが来た。誘拐されたらと想像すると、とても怖くて、安心できない。その他にも、世の中には、毎日のように様々な事件のニュースが数多く流れていて、犯罪が多いと感じている。

では、どうして人は犯罪を犯してしまうのだろうか。少し調べてみると、「人が犯罪を犯してしまった背景には、社会的・心理的要因があり、なおかつ二つの要因が相互に作用している説が有力とされている。」と分かった。犯罪学者ハーシーによると、「家族の存在や社会的信用などの社会とつながるきずが弱まったときに罪を犯す可能性が高くなる。」そうだ。犯罪が起きるのは、必ずしもこれらが要因のすべてだとは言いきれないが、きっかけとしてはあるのではないかと考える。

それでは、犯罪のない社会にするにはどうすれば良いか考えた。まず、善悪の判断を教えてくれる家族や親せき、周りの大人、そして、それを理解する能力や理性が一人一人に必要だと思う。次に、一つでも安心できる存在があることだ。私にとって家族は、本音で話せて、安心できる存在である。地域の人、登下校のときなどに見守ってくださっている。とてもお世話になっていて、大切な存在だ。共に楽しく過ごせるような友達もいる。だから、悪いことをしたら人目が気になるので、絶対にしないと教えてくれるのだ。誰もがそのような環境で過ごすことで、犯罪を減らすことができるのではないだろうか。そのためには、人と関わることでできる場をつくる必要があると思う。家庭、学校、地域のコミュニティなどがそのような存在であれば良いと思う。私も、誰かの安心できて、頼れる存在になりたい。そのために、まずは、学校で、色々な人にあいさつしたり、いつもと違う様子の子に気づいて、声をかけたりできるように心がけたいと思う。また、今はネットや電話で相談できる所もある。それが、さらに身近な存在になれば良いと思う。

そして、誰もが差別を受けず、平等で、教育や生活に困ることのない社会になってほしい。そのために、私も誰とでも同じように接することを意識したい。

私は、今回明るい社会、犯罪を起こすとはとを考えてみて、人は誰しも犯罪を起こしうると知った。でも、大半の人は罪を犯さない。それは、多くの人が教育をしっかり受けられて、犯罪への気持ちをとめられる深い関係を築けているからだと思う。私は、将来、そういう人が増えて、安心に暮らせて、みんなが幸せな社会になっていくことを強く強く願っている。

9月の主な行事

日	曜	行 事
1	金	
2	土	土曜授業、防災訓練(1)
3	日	
4	月	生徒会朝礼
5	火	専門委員会
6	水	定期考査一週間前 両中アカデミー
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	すみだいじめ防止の日
11	月	安全指導 両中アカデミー
12	火	
13	水	前期期末考査
14	木	前期期末考査
15	金	前期期末考査
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	領域診断テスト(3)
20	水	両中アカデミー
21	木	
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	全校朝礼、両中アカデミー
26	火	生徒会役員選挙
27	水	両中アカデミー 区連合陸上大会社行会
28	木	
29	金	区連合陸上大会
30	土	土曜授業、学校公開 すみだタブレットの日 前期保護者会(午後) 学校説明会(午前)



学校ホームページ